**令和２年度第４回練馬区食育推進ネットワーク会議(第７期)　会議要録**

１　開催日時

　　令和３年３月17日(水)午後２時30分～３時30分

２　開催場所

　　練馬区立区民・産業プラザ　Coconeriホール（西側）

３　出席者

　　委員長　　　健康部長

　　副委員長　　健康部健康推進課長

委員　　　　阿出川委員、岸委員、堀委員、岡野委員、戸田委員、高野委員、北村委員

　　幹事　　　　大泉保健相談所長、都市農業課農業振興係長、保健給食課学校給食係長、

保育課保育所給食担当係長、生活衛生課食品衛生担当係長、

健康推進課健康づくり係長、健康推進課歯科保健担当係長

　事務局職員　健康推進課栄養食育係２名、北保健相談所栄養担当係長、豊玉保健相談所栄養担当係、

　欠席委員　　神谷委員、白鳥委員、谷内委員、前田委員、井上委員、白石委員、

石井委員

４　公開の可否　公開

５　傍聴者数　　０名

６　配付資料

　　資料１　　　練馬区食育推進ネットワーク会議（第７期）構成員

　　資料２　　　練馬区食育推進ネットワーク会議（第７期）の活動報告

　　資料３　　　食育推進ボランティアの活動について

　　資料４　　　第７期　「若い世代」への食育の取り組みについて

資料５－１　「ねりまの食育応援店事業」第７期部会活動報告

　　資料５－２　ねりまの食育応援店登録状況

７　会議要録

(1) 開会

（委員長）　　令和２年度の第４回練馬区食育推進ネットワーク会議第７期を開会させていただきます。本日、ご多忙のところご出席いただきまして誠にありがとうございます。まず委員からの欠席のご連絡をいただいているのが、井上委員、前田委員、白鳥委員、神谷委員、白石委員です。

それではお手元の次第に沿って進めさせていただきます。案件の１）、食育推進ネットワーク会議第７期活動報告です。第４回、本日のネットワーク会議を持ちまして第７期２年目の最後となりますので、第７期のまとめとして活動報告をさせていただきます。では資料の説明をお願いします。

　(事務局)　資料１、資料２の説明

　(委員長)　　ありがとうございます。第７期の練馬区食育推進ネットワーク会議の活動報告について説明してもらいましたが、ご質問はありますでしょうか。

　　　　　　　それでは案件の２）の練馬区食育推進ネットワーク会議部会活動報告についての説明もお願いします。

　（事務局）資料３、資料４、資料５－１、５－２の説明

（委員長）　ありがとうございました。資料３種類説明をしていただきましたが、どこでも結構ですが、何かご意見とかご質問とかありますか。

特に無いようなので、私が聞くのも何なのですが、ねりまの食育応援店は登録店舗数を増やす方向だということですが100店舗を目指すとか数値の目標はまずあるのでしょうか。

　（事務局）　はい。健康づくりサポートプランの終了までには、100店舗を目指したいと思っています。ですので、練馬産野菜を扱っているようなお店など、皆様どこか良いお店があれば、私たちの方にお声がけをいただけると大変ありがたいです。

　（委員長）　新しく登録になったお店の方の感想とか、ご意見とか聞いたりしていることはありますか。

　（事務局）　私たちの方も情報誌の方を持って、新規の店舗さんにはお声がけをさせていただいています。店舗の方からも、情報誌に掲載してもらえるのだったらということで手を挙げていただいていたりという事もあります。情報誌への掲載が店舗にとって周知に繋がっているということがあると思います。

また、もっと食育の活動をしたいという店舗の方もいらっしゃいまして、様々なところで自分たちができることをやるよというお声がけもいただいているところです。

　（委員長）　はい。なかなか数だけ増やすのが目標になってしまうと、事業の目的を見失ってしまうので、登録してもらって何をしていただくかとか、登録店が増えるとことで、それが結果的にどういうふうに食育の推進に効果を発揮したとか、そういうことを図りながら進んでいくのがいいかなと思います。ただ100店舗を目指すっていうことにはならないように、やっていただければなと思います。

後もう１つ、私ばかり聞いてなんですが、食育推進ボランティアで、実数で61名の登録の方がいらっしゃるっていうことですけど、具体的に活動をしている方はそのうち何人くらいいらっしゃるのですか。

　（事務局）　令和元年に「ちゃんとごはん」を実施できていた時は、本当に61名の方には満遍なく色々な活動をしていただいておりました。「ちゃんとごはん」以外には「健康フェスティバル」だったり「農業祭」だったり、食育キャンペーンに出ていただくような活動もしておりました。現在登録していただいている方は、精鋭って言っても良いかと思います。今までボランティア講座の修了生はおそらく120～130人位いらっしゃったかと思うのでが、毎年活動の継続希望を聞かせていただいて、希望された方が活動をしております。

　(委員長）　　区のボランティア事業を超えて活動している方がいらっしゃるって言っていましたよね。そういう方が、グルーピングとかされているのだとすれば、例えば区のやっている協働事業みたいなもので、もう少し大掛かりな活動に昇華させてあげるとか、そういうことが出来るのだったら、少しそのような事業展開を考えていければ良いかなと思います。区の協働推進課とかでやっている事業ありますよね。自発的にやってもらい、区からお金も出すから自発的に活動してみてみたいな。せっかく地域で活動している人がいるのだとすれば、少しそういうことにも水を向けてあげて、活動がどんどん深まれば良いのでは。事業のお手伝いのためのボランティアを養成しているという事より、もっと良い話になると思うので、ぜひそういう話をしていただけたら良いかなと言うのと、もうすでに地域で活動している人がいるのだとすると、そういう人の活動をこういう場で、どういう活動をして、ここの地域にはこんな方がいます、みたいに紹介をしてもらえると良いかなと思うので、来年度以降そういう方の活動にもちょっと光を当てるようにしていただけますか。

　（事務局）　はい、ありがとうございます。昨年度の食育推進講演会第二部で、地域で活動している方の活動発表をしていただいたという経緯があります。今は食に関する活動が全くできていない状況ですが、今後、協働推進というところも視野に入れてお声がけさせていただこうと思います。ありがとうございました。

　（委員長）　他に皆さんからなにかご質問ありますか。よろしいですかね。

それでは、一応、案件としては第7期の最後という事で、報告ばかりになってしまいましたが、特にご質問等はなかったということですので、報告は終わりにいたします。

第７期の最後の会議ということなので、できれば委員の皆さんから、今年はコロナでなかなか活動もままならないといった状況でありましたが、２年間を振り返り、来年度以降の取り組みについて、どういうことを進めて欲しいとか要望等も含めて、皆さんに一言ずつご挨拶も兼ねてご意見いただけたらなと思うのですが。順番にお願いします。

　（委員）　　いきなりのお話で、心づもりがなかったものですが、特にこの１年はこの食育推進ネットワーク会議自体もそうですし、「ちゃんとごはん」の活動など食に関することはほぼストップ状態になってしまって、皆さんやりたくてもできないという状況だったのだと思うのですよね。その中で、こういう状況の中でもなんとかこう続けられないかという模索の１年でもあったと思います。私は、若い世代への食育の取り組みの方で参加させていただいていましたけれど、私自身この４月から、若い世代にどういう形で食の良さを伝えていくかとかそういった研究を個人的にしていこうと、この会議が動機づけになりました、ですので、これからもこちらの方で何かそういったことでデータとかいろんなことをいただきながら、こちらからも何かできることっていう事を一緒に考えていけたら嬉しいなと思っております。ありがとうございました。

　（委員長）　ありがとうございます。一番手で申し訳ありませんでした。では、次にお願いします。

（委員）　　よろしくお願いします。２年間でしたけれどもやはり最初の初年度の活動というのは活発でしたけれども、どうしてもコロナ禍ということで、活動の制限がある中だったのですが、その中でも、今回Zoomを使用しての食育ということで、「オンラインちゃんとごはん」という、貴重な経験をさせていただくことができました。初めての取り組みでしたので、どんな形でやっていったらいいのかっていう試行錯誤、模索をしながらの活動でしたが、それが次に向けての反省点になっていたり、そういった発展につながればいいかなと思っております。

今、隣の委員の方がおっしゃっていましたけれど、ちょうどこの機会で私自身、いろんなことを学ばなきゃいけないということで、子供が料理をすることを推進する活動を学びましたので、また次に向けて「ちゃんとごはん」だけでなく、皆さんに何かプレゼンすることがあったらそういった機会があったらいいなと思っております。どうもありがとうございました。

　（委員長）　ありがとうございます。では次の方お願いします。

（委員）　　会議になかなか出られなかったり、ネットにもあまり参加できなく申し訳ありません。私、保育園の園長していますので、いつも感じていることなのですが、やっぱりお父さんお母さんが忙しいので、なかなか家庭で子供たちとゆっくり食事を楽しむという時間が持てない社会になっているということが、食育にもすごく影響があるのだな、ということを思っているのです。国は、ちょっとここで言うことではないかも知れませんが、保育をどんどん充実させて、若いうちから、子供が小さいうちから、お父さんお母さんにどんどん働けっていう政策をずっと推進していると思うのですが、食事を作って子どもたちに食べさせるっていうことも、すごく大切な仕事で、なかなか外の仕事と完全に両立するっていうのはすごく難しいと思うのですね。食育を推進していくためには、やっぱり家庭の時間をもっと大切にする国の政策が進んでいかないと難しいなというのをすごく感じています。もっと国が企業に働きかけて、社員や職員に家庭を顧みる時間を持たせるっていうのでしょうかね。しなきゃいけないのだけれど、税収の問題もあるのかどんどん企業が、仕事が、発展しなきゃ困る、発展するためには社員が働かなきゃいけない、だから結局お父さんお母さんが駆り出されて、若い世代から駆り出されてという循環になっているのだろうなと思うのです。でも不思議なことに、なぜかみんな余り豊かにならず、学生を始め、若い世代のお父さんお母さんたちも経済的にすごく困っているようなことが見受けられて、結局、お金もないから買う食材もあまりいいものは買えない、時間もない、と言うか良いものを選んで美味しく食べるという事に対する方向性がどんどん失われてしまうと。ちょっと表現はよくないとは思いますが、本当にやばいんじゃないかな、ということを結構思っているところであります。だからと言ってどうしていけばいいのかはちょっと私にも具体的にはわからないですが、園としては本当にいい食材を選びおいしい給食を作って、子どもたちがいかにそれをもりもり食べるかということをちゃんと保護者に伝えるということを大切にしています。保護者からよく言われるのは、家じゃ絶対食べないのに、保育園の先生に話を聞くと「きゅうりも人参も全部喜んで食べていました」っていう話をよく聞いたりするのです。それは集団生活だっていうところもありますけど、ただ絶対的に違うのは食材の選び方とそれから調理の仕方、その食事のクオリティーが違うと思うのです。だから、子どもは美味しくないのは食べないので、やっぱりその根本から考え直していってもらうように、お父さんお母さんたちにも保育園のレシピを公開し、よく伝えていったりしています。これからも食育のことは園としてもっともっと発信していかなければいけないな、ということを思っています。

（委員長）　ありがとうございます。では次の方。

（委員）　　ちょっと今のお話を聞いて思い出したのは、私もそういえば朝ごはんを食べたことのない子供だったな、というのを思い出しました。共働きだったので、それが普通だったと、当時私はなんとも思わなかったですけれど、今思うとやっぱり栄養偏りがあったのかなと思います。本当は親が反省すべきなのですが、私が今反省をしております。

去年から1年間お世話になりまして、来年度も引き続きお世話になるのですが、ほとんど何もお役に立てない１年ではあったかなと思うのです。色々と工夫しなくては、来年度もきっといろいろと難しいのだろうなということを思っておりますので、色々なアイデアを出しながらやっていけたらなと思っております。よろしくお願いします。

　（委員長）　ありがとうございます。では次の方。

（委員）　　私は、学生代表として参加させていただいたのですが、色々な学生がいるので、学生代表として意見を言うのは結構難しくて、自分の意見を言ってもほかの若い人たちとは違うかもしれないと、結構発言に責任を感じてしまい、中々意見を言うことはできなかったのですけれども、練馬区の色々な活動を知っていく中で、様々な場面を想定して計画しているのだなと感じました。委員の方がさっきおっしゃっていたことなのですけれども、私の家庭も両親共働きだったので、両親帰ってくるのがとても遅かったのです。よく親からは家事を手伝うのではなくて、家事を自分のこととしてやるっていうふうに考えてやって欲しいって言われていたので、全員で協力していろんな手伝いをしていました。食事を抜くっていうこともなかったし、朝食を食べられないっていうこともありませんでした。なので、小学校とか中学校とかで家事を手伝うと教えるのではなく、自分から家事、家事は家族でやるものだっていうふうに考えていけばきっともっと変わるのではないかな、と思いました。

　（委員長）　はい。ありがとうございます。では次の方お願いします。

（委員）　　私は小学校で勤務しておりますので、給食の時間に一言もしゃべらずに食べるっていうような状態が1年間続きまして、本当に楽しく食べるとかっていうのはちょっと程遠い状態だったですし、また調理実習も今年は一切やっていませんので、いわゆる食に関することに関してはあまり楽しい思い出を作らせてあげられなかったな、とても残念だったなと思います。今後どうなっていくのかわかりませんが、できるだけ楽しい時間になるように進めていきたいなと思います。先ほど第８期に向けて「オンラインちゃんとごはん」ということを小学校との連携も検討していきたいという事でしたので、ひとり１台のタブレットも持っている状態ですので、そういったものをうまく活用しながら食育推進できたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

　（委員長）　ありがとうございます。では次、お願いします。

　（委員）　　中学校の方も同じ状況で、給食の風景が様変わりしました。一緒に食べてはいるのだけれど、個食というのでしょうか、という状況が続いています。やはり給食を柱とした学校での食育というのは重要なことなのですが、新しい食育のありかたっていうのを模索していきたいなと考えています。

中学校では、やはりSDGｓとかの関係で、フードロスとか、あるいは栄養面のことのみが重点が置かれているので、もっと今回給食が様変わりして改めて気づいたこの食事の楽しさっていうのですか、みんなで食べる楽しさというところも、何か工夫して、経験させていきたいなと考えています。

中学校の教育研究会の食育部会で、毎年夏休みの宿題として、全中学校に自分で作る朝ごはんをテーマに、実際にレシピを考えて調理をするというコンクールを行っています。今年度は開催が危惧されたのですが、行うことが出来ました。そのレシピの紹介なども区役所のアトリウムで実施し、区民の方もそこを見に来ていただいてとても関心を持っていて、毎年楽しみにしているというお声をいただいています。そういった訴えを通してですね、中学生の取り組みとかそういったものもお伝えしていきたいなと、今後も取り組んでいきたいと考えています。

後、同じく食育部会の方で、区の栄養士と食育リーダーの研修会とを兼ねたものだったのですけれども、中学校の授業で、学校栄養士さんと社会科の教員が連携した授業を実施しました。社会科の方で関東地方の近郊農業を扱う単元がございますので、そこの中で特に練馬の都市農業をどのようにこう変遷をして現在に至っているのかというようなことを学習し、栄養士さんの方は特に練馬大根に注目し、実物も見せていただきながらその特徴とか、給食でどのように取り入れているのかっていうことを紹介する取り組みを行いました。やはりその中で、オンラインを使った授業っていうのもあったのですけれども、いろんな部分でオンラインで繋がりながら、例えば農園さんと直接と子供達が関わるような授業展開というのも考えられますので、様々なお店、食育応援店さんとも結びついて中継したり、といったこともできるかと思いますので、新たな連携をしながら、食を通したつながりの楽しさということを子どもたちの教育の場面で出していきたいと考えていますので、どうぞ今後ともご協力の方お願いしたいと思いますし、またいろいろとご指導いただければと思います。どうもありがとうございました。

　（委員長）　どうもありがとうございます。あとは副委員長。

（副委員長）　副委員長として、昨年の４月からこちらの会議の方に参加させていただきました。昨年の４月からということですので、コロナの蔓延というような状況になりつつある時期ということで、イベントですとかそういった大きな事業については、１回も参加できなかったという事は、非常に残念だと思います。そんな中でも、ネットワーク会議の委員の皆様は部会ですとかそういったところで食育推進ボランティアですとか若い世代への食育の取り組み、それからねりまの食育応援店事業についていろいろとご協議いただきまして本当にありがとうございました。事業の方は出来なかったのですが、今後に向けて様々なことを検討していただいたのだな、ということが今日の報告を聞いていて思いました。

今、健康ということで言いますと、健診や診療などを控える受診控えというようなことが言われていて、健康に対する意識が変わってきているのだと思われます。コロナが下火になった後というのは健康づくりの取り組みについて関心が強く集まってくるのでは、なんて思っています。食は健康の基本ですし、そういったところで今お話しいただいたような内容、食育の推進というところが非常に重要になってくるのではないかと思っています。それと、後今日お話を伺っていて思ったのですけれど、コロナ禍で、食の在り方がすごく変わ思っております。給食の話もありましたし、飲み会なんかももう全然できなくて、私もこの1月から生ビールは１回も飲めてなくて非常に残念だったりしているとこなんですけれども、そういうところでも食の在り方っていうのは、すごく変わってきたなと思っています。事業の在り方もオンラインでとか、そういったことで変わってきているのかなと思います。

今回部会でお話いただいた内容ですとか、あと社会のありよう、こういったものをミックスして、第８期にいろいろと取り組んでいけたらいいなというふうに思っています。皆さん本当にありがとうございました。

（委員長）　委員の方々、ご発言いただきありがとうございます。あとは庁内幹事の方々に一言ずつ本当はお願いしたいのですが、時間都合がありますので、幹事を代表して保健相談所長お願いします。

　（幹事）　　保健相談所では、主に離乳食の時期の講習会である「赤ちゃんからの飲む食べる相談」でしたり、１歳からの食事講習、乳幼児期の栄養のあり方であるとかそういったことをやっています。それと食育に関しては地域食育講座というものも実施しています。でも今は、コロナの関係でなかなか人数集めるっていうのができなくなっているのですけれども、コロナの対応に注意してやっているという事態ですけれども、ちょっと防災も含めて様々な食に関するテーマを説明させていただいております。この会議は毎回いろんな食に関する取り組みを広げる貴重な機会になっていると感じ取れます。引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

　（委員長）　他の幹事の方々、発言の場がなくて申し訳ないです。これで案件は全部終了になります。委員の皆様、もう少ししゃべりたいとかそういうものはありますか。大丈夫ですか。それではありがとうございました。一応本日をもって食育推進ネットワークの第７期については終了という形にさせていただきます。

この間委員の皆様には毎回ご多忙の中会議にご出席いただきましたり、またイベントや講演会にもお力添えをいただきまして本当にありがとうございます。感謝申し上げます。幹事の方々も本当にお疲れ様でした。第７期はこれにて終了という形になりますが、今後とも練馬の食育に関しまして何かとお力添えをいただきますようにお願い申し上げてご挨拶とさせていただきます。それでは本日の食育推進ネットワーク会議をこれで閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。